

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (四国)	◎	商店街（事務局長）	・光熱費の高騰や物価高の懸念はあるが、新型コロナウイルス感染症が終息の方向にあり、今以上に人流が増え、経済活動が活発化し、飲食や旅行、レジャー、会合、イベント等の機会も増加することから関連の消費には期待をしている。
	◎	旅行代理店（営業担当）	・5月8日から新型コロナウイルスの感染状況が2類相当から5類感染症に引き下げられるため、観光需要が拡大すると予想される。また、インバウンド等の復活が大きく期待される。
	○	商店街（代表者）	・春先から初夏にかけていろいろなイベントがフルで行われる計画となっている。新型コロナウイルス感染症の第8波も終息に向かい、5類感染症になるということもあって、来客数が増加する見込みである。
	○	一般小売店〔生花〕（経営者）	・今までになく、先の予約まで入ってきている。急な注文や高額商品の注文も増えている。
	○	百貨店（販売促進）	・マスク着用ルールも変わり、新型コロナウイルス感染症への恐怖感が薄れて、徐々に以前のような消費マインドに戻ると予想する。
	○	コンビニ（店長）	・今後人出が増える見込みである。
	○	衣料品専門店（営業責任者）	・新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類となることで、客の心理的な負担が取り除かれ、回復基調にある。
	○	乗用車販売店（従業員）	・自動車メーカーの生産台数もしばらくは増産傾向にあるが、この状態がいつまで継続するのか不透明である。
	○	乗用車販売店（役員）	・3月から5月に向けてメーカーの増産が続く見込みである。
	○	その他専門店〔酒〕（経営者）	・2～3か月先は花見等もあり、多少の売上増加が期待ができる。
	○	一般レストラン（経営者）	・例年では3月や4月は、繁忙期であり、今年こそは期待している。
	○	タクシー運転手	・3月から6月くらいまでは四国遍路の仕事が入ってくる。特に今年は弘法大師の生誕1250年で、多くの仕事が入ると予想される。来月からタクシー料金が値上がりするため街のタクシーの動きがどうなるか、少し悪くなるのかは分からないが、四国遍路の仕事が入るため今よりは多少良くなると予想される。
	○	通信会社（社員）	・会社でも少しずつ出張や会食等が許容されてきており、経済活動が活発化していると予想する。
	○	美容室（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の影響も段々と薄れており、イベントや旅行に行く人が多くなることで美容室の需要も増えると予想される。
	○	設計事務所（所長）	・休日の観光客も以前と比べると若干少ないが戻ってきており、仕事の上でも新築物件が増えている。
	□	商店街（代表者）	・材料費及び光熱費等の経費が高騰しており販売価格に転嫁していかなければならないが、値上げをしてしまうと客の負担割合が増えることから、まだまだ不安定な状況が続いている。
	□	一般小売店〔文具店〕（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の第8波が収束に向かいつつある状況下において今後に期待をしたいが、商店街への人出がどの程度回復するかが未知数であり不安を感じている。当方の商材が客にどれほど訴求するか分からないため、余り期待できない。
	□	スーパー（店長）	・値上げによる単価の上昇は継続するため、売上の急激な落ち込みはないと予想される。
	□	コンビニ（総務）	・今後の物価上昇と賃金上昇の程度によるが、消費の冷え込みは厳しくなる。
	□	コンビニ（商品担当）	・ウクライナ情勢、エネルギー価格高騰の打開策がない場合は景気は変わらない。
□	衣料品専門店（経営者）	・ここ2～3か月の業況は低調ムードになっている。3月は例年2日を過ぎたら好調になっていくため、期待をしている。	
□	家電量販店（副店長）	・物価高が続き、家電商品にも影響が出ている。	
□	乗用車販売業（営業担当）	・長納期化の解消のめどが立っていない。	

	□	その他小売 [ショッピングセンター] (総務部担当部長)	・全国旅行支援の恩恵を強く受けている状況であり、環境変化のない当面の間は現在の景気状況が続くと予想される。
	□	タクシー運転手	・年度末までは仕事が多いという建設業及び塗装業が多い。またサラリーマンの飲み会は新型コロナウイルスの感染状況に大きく左右される。
	□	通信会社 (営業担当)	・従来と比べて来客数も回復しているが、大きな回復はみられない。新生活様式を含めこの傾向が続くだろう。
	□	通信会社 (支店長)	・新型コロナウイルス感染症の影響は縮小したものの、物価高騰などにより景気改善までには時間が掛かると予想される。
	□	観光遊園地 (職員)	・新型コロナウイルス感染症の感染対策も徐々に緩和され、好調を維持できると予想される。
	▲	スーパー (店長)	・新型コロナウイルス感染症の終息に伴い、巣籠り消費需要が減少すると予想される。
	▲	スーパー (人事)	・更なる値上げも予測されているなか、鳥インフルエンザの流行により卵の価格がさらに高騰すると予想する。
	▲	スーパー (財務担当)	・価格上昇が続くなか、電気代が高騰している。そうしたなかで賃金は余り上がらず、節約志向はどんどん進んでいる。
	▲	スーパー (統括担当)	・ふだんの客との会話から、今年の春以降、物価高を感じていたところに、とどめを刺すような電気代の値上がりがあり、多くの人がショックを受けたと感じる。家計の引締めは免れないだろう。
	▲	コンビニ (店長)	・商品価格は更に上昇し、買い控えや節約ではなく、「買えない層」が少しずつ増加してくると予想される。
	▲	衣料品専門店 (経営者)	・前年の10月くらいまでは景気は良くなると思ったが、ここに来て足踏み状態である。他の業種はどうか分からないが、洋服関係全般は値上がりし、良くなる兆しがみえない。
	▲	家電量販店 (店員)	・買換えが一段落すると思われ、新たな購買意欲をかき立てるような政策がない限り冷え込むだろう。
	▲	乗用車販売店 (従業員)	・今月の新車受注状況は、前年比を下回るペースでの推移となっている。
	▲	観光型旅館 (経営者)	・4月以降の宿泊予約は極めて低調で全国旅行支援が継続しない場合、宿泊客数は大きく落ち込むと予想される。
	▲	都市型ホテル (経営者)	・エネルギーコストの上昇による利益水準の低下が客足に影響しているのではないかと感じる。全国旅行支援の終了後は客足の伸びが弱くなっていると予想される。
	▲	通信会社 (営業部長)	・客の節約意識は高い。マイナポイント付与などへの興味は旺盛である。
	▲	競輪競馬 (マネージャー)	・物価の上昇に賃金の上昇が追い付いておらず、遊興へ回せる余裕資金が少なくなっていくと予想される。
	×	商店街 (代表者)	・経済視点から考えても、現在の世界変動に国政が全く付いていけない状況が続いている。戦後は再び大変動が起きる可能性がある。
	×	一般小売店 [酒] (販売担当)	・物価高騰の影響が家庭に随分響いており、消費者の財布のひもは今後もっと固くなるだろう。
	×	衣料品専門店 (経営者)	・光熱費の高騰などが続いている。
	×	美容室 (経営者)	・物価高で消費を抑えるようになると予想される。
企業 動向 関連 (四国)	◎	食料品製造業 (商品統括)	・為替動向が、130~140円の範囲で推移することが条件ではあるが、原料の有無、価格の上昇の許容度が増しており、業界そろって価格転嫁が確実に実施できている。
	○	繊維工業 (経営者)	・取引先の小売店ではコロナ禍の影響で優劣がついているが、それはこの3年間で消費行動が大きく変化した結果である。消費者が新しい価値観を感じるものの、SNS等で他人が良いと評価するものの、そしてリーズナブルな価格のものは積極的に求めており、景況的には良くなると予想される。
	○	電気機械器具製造業 (経営者)	・客が段々と脱炭素や再生可能エネルギーに取り組みなければならぬと切羽詰まってきたり、ようやく契約をしてくれるという段階になっている。
	○	電気機械器具製造業 (経理)	・5月から新型コロナウイルス感染症が5類感染症になることで、新型コロナウイルス感染症発生前までにはいかないにしても、社会経済活動は回復傾向である。またインバウンド需要が1月より出てきており今後も右肩上がりが見込まれることから、インフレによる物価高や円安基調は継続しているが、景気回復の兆しがみえる。

	<input type="radio"/>	輸送業（経営者）	・景気がこのまま推移すると有り難いが、ロシアとウクライナの戦争が気になる。
	<input type="radio"/>	通信業（総務担当）	・社外とのイベントやボランティア活動について、一部イベントの再開に加えて、参加者数も増加傾向であり、新型コロナウイルス感染症の流行以前の状態に戻る傾向が続いている。
	<input type="checkbox"/>	農林水産業（職員）	・日配品等の値上げが更に強まる動きがあり、その影響は計りしれない。農業生産費の上昇を販売価格へ反映できるよう取り組んでいるが、販売環境の改善が見込めないなかでは厳しい状況。
	<input type="checkbox"/>	木材木製品製造業（営業部長）	・原材料の価格上昇は落ち着いてきたが、これから電気代と人件費の上昇があり、業績の悪化は避けられないだろう。
	<input type="checkbox"/>	パルプ・紙・紙加工品製造業（経理）	・ウェットクリーナーは新型コロナウイルス感染症の影響もあり需要は高いが、供給も高い。プラスチックの蓋つきのウェットクリーナーの販売を開始したが、価格が高いことや、プラスチックが環境に負荷を掛ける等の理由で売行きが良くない。
	<input type="checkbox"/>	化学工業（所長）	・原油、ナフサの価格は弱含みであるが、実需が伸長している実感がなくに加え、ロシアとウクライナの戦争が長期化すると予想されることから、景況感是不変。
	<input type="checkbox"/>	鉄鋼業（総務部長）	・受注量の増加は見込まれるが、4月からの電気料金の値上げ、人手不足の影響により、生産、売上は余り期待ができない。
	<input type="checkbox"/>	建設業（経営者）	・このまま受注が少ない状況が続くと予想される。
	<input type="checkbox"/>	建設業（経営者）	・手持ちの仕事量に大きな変動がない状態で年度末から新年度を迎えることとなる。例年、この時期は大きな受注の変動はないため、今期も、公共事業予算の状況から、変動は小さいと見込んでいる。新型コロナウイルスの感染状況が好転することより、事業活動の制約も小さくなることから、ビジネスチャンスは増えると期待しているが、その効果の出現は当分先になると予想される。
	<input type="checkbox"/>	輸送業（営業）	・通販等の個人向け宅配便需要が増加するなか、宅配便を取り扱う大手2社は、4月より宅配便基本運賃の8%から10%の引上げを発表しており、宅配便を取り扱わない運送事業者間においても同様の運賃引上げが波及すると予想される。燃料油価格の高止まりや人件費の上昇等が経営を圧迫する要因となり厳しい経営環境におかれるなか、大半の運送事業者においては運賃引上げが経営の安定を図る上での喫緊の課題となっている。
	<input type="checkbox"/>	通信業（企画・売上管理）	・現段階では特に良くなる話、悪くなる話とも目立ったものがない。
	<input type="checkbox"/>	広告代理店（経営者）	・エネルギー等の高騰による影響で客先の広告関係は低調であり、また多少増加していた旅行関連広告も4月以降は国の支援策がなく減少が予想される。一方、人手不足に伴う採用は増加が見込まれ全体としては余り変わらない。
	<input type="checkbox"/>	税理士事務所	・売上は回復しているが、人件費や物価高騰によりなかなか利益は出ないだろう。
	<input checked="" type="checkbox"/>	食料品製造業（経営者）	・エネルギー費（特に電気代）の大幅な値上げが控えており、製品価格に転嫁できないことにより利益率が低下する。
	<input checked="" type="checkbox"/>	一般機械器具製造業（経理担当）	・ウクライナ問題や原材料・エネルギー価格を始めとするコスト上昇、調達・物流環境の制約、各国の金融政策等、不透明な状況が続くと予想される。
	<input checked="" type="checkbox"/>	金融業（副支店長）	・電気代の値上がりや原材料費も高止まりしているが、価格転嫁が追い付いていない。
	<input checked="" type="checkbox"/>	*	*
雇用 関連 (四国)	<input checked="" type="radio"/>	—	—
	<input type="radio"/>	人材派遣会社（営業）	・年度末に向けて、人の移動も多くなり購買ニーズも高まる。また人事異動や入退社時期で、しばらく人材不足に悩む企業、店舗も増加する。一方、事務処理の定型業務などはデジタル化推進が強まる傾向がある。
	<input type="radio"/>	求人情報誌製作会社（従業員）	・異動時期に入り求人数の増加が予想される。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（営業担当）	・派遣先の求人数に大きな動きはなく、景気の反映にはつながりにくい、一定の求人数はある。
	<input type="checkbox"/>	求人情報誌（営業）	・求職者の数や流動性が低いため、景気の回復が見込めず、低調に推移している。

	□	学校 [大学] (就職担当)	・引き続き人の動きは良くなっていくが、物価の見通しが不透明であり、結果として横ばいであると予想される。
	▲	新聞社 [求人広告] (担当者)	・4月以降、電気料金を始め、今まで以上の物価上昇が発表されており、当面落ち着く心配がみえない。
	×	—	—